

事業報告書

1. 事業名

遺伝子組換え実験安全管理研修会

2. 事業目的

文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。

3. 開催期間

2023年7月22日（土）13時00分～16時00分（Zoomウェビナー）

4. 主催等

主催 遺伝子研究安全管理協議会

共催 国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

後援 文部科学省

5. 参加機関

国立大学法人 43 校、私立大学 25 校、

国立研究開発法人・公益財団法人等 7 機関、

民間研究所等 27 組織

合計 102 機関 参加者合計 217 名

6. 概要

13：00～13：30

文部科学省ライフサイエンス課生命倫理安全対策室

「カルタヘナ法について」

13：30～14：00

「遺伝子組換え実験の安全教育用動画の紹介」

東京大学 三浦 竜一 先生

14：00～14：10 休憩

14：10～14：55

「バイオDXによるゲノム編集技術への応用」

広島大学 坊農 秀雅 先生

14：55～15：40

「生命科学研究者によるAI開発の実際～ 遺伝子組換え申請の自動判定に向けて～」

理化学研究所 三輪 佳宏 先生

15 : 40～16 : 00

総合討論

今回の安全研修会では、前半でカルタヘナ法についてのご講演いただいた後、遺伝子組換え実験の安全教育用動画をご紹介いただいた。

後半では、DXのゲノム編集技術への応用と遺伝子組換え申請の自動判定に向けたAI開発についてご講演いただいた。

参加者へのアンケート結果から、遺伝子組換え申請の自動判定に向けたAI開発に興味を持った方のコメントが多く、共同開発の希望もあり、遺伝子協でも今後検討を進めたい。また、安全教育用動画の有用性についてのコメントが多く、今後も関連動画の作成に取り組んでいきたい。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター

第15回 遺伝子組換え実験安全研修会

◇日時：2023年7月22日（土）13：00～16：00

◇開催形式：Zoomウェビナー

◇プログラム

13：00～13：30

文部科学省ライフサイエンス課生命倫理安全対策室

「カルタヘナ法について」

13：30～14：00

「遺伝子組換え実験の安全教育用動画の紹介」

東京大学 三浦 竜一 先生

14：00～14：10 休憩

14：10～14：55

「バイオDXによるゲノム編集技術への応用」

広島大学 坊農 秀雅 先生

14：55～15：40

「生命科学研究者によるAI開発の実際～ 遺伝子組換え申請の自動判定に向けて～」

理化学研究所 三輪 佳宏 先生

15：40～16：00 総合討論

◇申込方法

遺伝子協の公式WEBサイトで受付

<https://www.idenshikyo.jp/>

参加申込締切は7月7日（金）となります。

安全研修会の1週間ほど前に、ZoomのURLをお送りいたします。

◇参加費 無料

◇主催：遺伝子研究安全管理協議会

共催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

後援：文部科学省